平成 25 年５月 15 日

各　　位

会 社 名　国際計測器株式会社
代表者名　代表取締役社長　松本　繁
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　7722）
問合せ先　取締役総務部長　松本　博司
電話番号　042－371－4211

業績予想と実績との差異、個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 24 年 11 月９日に公表いたしました平成 25 年３月期の連結業績予想値及び前期個別実績と平成 25 年３月期の連結及び個別業績に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 25 年３月期の連結業績予想値と実績値との差異
（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	10,500	1,200	1,100	620	44.24
今回実績（B）	10,508	1,501	1,546	868	61.98
増減額（B）－（A）	8	301	446	248	
増減率（%）	0.1	25.1	40.5	40.0	
（ご参考）前期実績（平成 24 年３月期）	10,873	1,146	1,173	556	39.72

２．平成25年３月期の個別業績と前期実績値との差異

（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前　期　実　績（A）	百万円 7,991	百万円 524	百万円 632	百万円 286	円銭 20.46
今　回　実　績（B）	8,154	1,101	1,336	830	59.24
増　減　額（B）－（A）	163	577	704	544	
増　　減　　率（％）	2.0	110.1	111.4	190.2	

３．差異の理由

(1) 連結業績予想と実績との差異について

売上高につきましては、既存事業の主力製品であるタイヤ関連試験機の海外売上が堅調に推移したことや電気サーボモータ式振動試験機については、受注・売上共に大幅に伸長し、特に第４四半期に納品したものが順調に検収され、ほぼ予想通りの結果となりました。

利益面につきましては、主力製品のタイヤ関連試験機及び電気サーボモータ式振動試験機の売上総利益率が、量産効果や為替の影響もあり改善されたことにより、営業利益が予算を上回る結果となりました。さらに期末にかけて為替が急激な円安ドル高に推移したことにより、為替差益を計上することとなり、経常利益及び当期純利益につきましても予算を上回る結果となりました。

(2) 前期個別業績と実績との差異について

売上高につきましては、タイヤ関連試験機が減少したものの、電気サーボモータ式振動試験機の受注・売上が大幅に伸長したことにより増加致しました。

利益面につきましては、(1)において記載の通り、量産効果や為替の影響により主力製品の売上総利益率が改善したことにより、営業利益が大幅に増加致しました。経常利益及び当期純利益につきましては、上記理由の他、韓国子会社からの配当金を前期比倍増したことにより増加致しました。

業績に関する詳しい内容につきましては、本日同時に公表しております「平成25年３月期決算短信」をご参照願います。

なお、期末配当につきましては、当初の予定通り１株当たり15円としており変更ございません。

以　上